

2020年5月22日

大分市長 佐藤 樹一郎 様

大分生活と健康を守る会

会長 福間健治

特別定額給付金の迅速な支給を求める緊急要望書

(要望趣旨)

市民の命と暮らしを守るために、ご尽力されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症への不安と混乱が続くなか、政府の補正予算で決定した特別定額給付金の支給手続きについて、生活保護利用者からは、「早く支給をしてほしい」が本人確認のための、健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードを持っていない。「申請書類を書くのが難しい」「足が悪く通帳などコンビニまでコピーにはいけない」「コピーの仕方がわからない」など、申請用紙を記入するのに、困惑・苦慮しているとの声が私共の事務所には、連日のように届けられています。本市では本日5月22日から申請用紙の郵送が開始されると聞いています。

つきましては、生活保護利用者への特別定額給付金の迅速な支給のために、下記について緊急に検討していただくよう要望します。

記

- 1、生活保護世帯については、申請に困難が予想されることから、ケースワーカーが生活保護利用者へ連絡し、特別定額給付金の支給を望む意志確認ができれば、オンライン申請や郵送での申請がなくても支給できるようにすること。
- 2、生活保護利用者には、本人確認が求められている運転免許証など持ち合わせていない世帯が多く存在します。生活保護診療依頼書でも本人確認の証明として扱うこと。
- 3、郵送申請が開始された県内の自治体では、通帳のコピー添付なし、口座記入漏れなどが問題となっています。高齢者・障がい者など、手続き困難な生活保護利用者には、ケースワーカーの適切・迅速な支援がおこなえるよう徹底すること。

以上